

2015年8月19日

報道関係者各位

模擬国連会議関西大会が開催

会場は神戸国際会議場 開会式前には根本国連広報センター所長の基調講演も

8月17日(月)～19日(水)に、日本模擬国連(JMUN)の主催事業である第15回模擬国連会議関西大会(KMUNC)が開催されました。今年で15回目を迎える関西大会は、毎年8月に開催される国内最大規模の模擬国連大会です。全国から200名以上の参加者が集まり、実際に国際会議が開かれる神戸国際会議場を舞台に、臨場感と緊張感のもと、模擬国連会議に取り組みました。

初日、開会式前においては、日本の戦後70周年ならびに国連加盟60周年を記念して、国連広報局が所有する過去の国連に関するアナログ映像デジタル化するプロジェクトに関連して、首相官邸国際広報室様および、国連広報センター様との合同企画を実施。根本国連広報センター所長の基調講演や、現在の日本の国連政策のスナップショットにかかるブリーフィング、学生を交えてのパネルディスカッションを行いました。

今大会においては、近年紙面をにぎわせている国際問題、たとえば「捕鯨」「感染症」などを取り入れられることで会議コンテンツの多様性を実現しているほか、完全英語化した会議も実施することで、よりグローバルな世界を求める学生のニーズにも応えています。具体的には、以下の7つの会議が開催されました。

「エボラ出血熱への対応」

「気候変動枠組条約第15回締約国会議(COP15)」

「捕鯨業の規制及び鯨類資源の保全」

「海賊問題」

「人権の保護と促進～平和への権利～」

「コソボ情勢」

「国連持続可能な開発のための教育の10年に関する国際実施計画の再検討」

【URL】 <http://www.kansai-mun.org/kmunc15/index.html>

昨今、大学生が内向的な傾向がある、あるいは対人コミュニケーションが低下しているなどと叫ばれています。本団体の活動はそのような内向的な学生に、「外」の魅力を伝え、そして体感させるには最も優れたメディア(媒体)の一つではないか。そのような考えの下、生まれた大会コンセプトである"Try New Things"。文字通り、どの会議においても、参加者の「挑戦」が見受けられた大会でした。

【写真】



<本件に関するお問い合わせ>

日本模擬国連代表部(JMUN Office)広報情報担当の戸嶋までお願いいたします。

pub@jmun.org